

# 令和7年度 関東高等学校水泳競技大会

第76回 関東高等学校選手権水泳競技大会  
兼第93回 日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会

## 実施要項

( 競泳 ・ 飛込 ・ 水球 )

期日 (競泳) 令和7年7月19日(土)～21日(月) 3日間  
(飛込) 令和7年7月19日(土)～20日(日) 2日間  
(水球) 令和7年7月19日(土)～21日(月) 3日間

会場 埼玉県川口市 川口市青木町公園総合運動場(青木町平和公園内) プール(競泳)  
埼玉県川口市 川口市青木町公園総合運動場(青木町平和公園内) プール(飛込)  
埼玉県さいたま市 埼玉県営大宮公園水泳場 (水球)

主催 関東高等学校体育連盟・公益財団法人日本水泳連盟  
埼玉県教育委員会

主管 関東高等学校体育連盟水泳専門部  
埼玉県高等学校体育連盟・一般社団法人埼玉県水泳連盟

後援 公益財団法人埼玉県スポーツ協会

## 1 期 日

- (1) 開 会 式 競泳 令和7年7月19日(土) 9時30分～  
 飛込 7月19日(土) 9時30分～  
 水球 7月19日(土) 8時00分～
- (2) 競 技 競泳 令和7年7月19日(土)～21日(月) 3日間  
 飛込 7月19日(土)～20日(日) 2日間  
 水球 7月19日(土)～21日(月) 3日間
- (3) 閉 会 式 競泳 令和7年7月21日(月) 15時30分～(予定)  
 飛込 7月20日(日) 16時30分～(予定)  
 水球 7月21日(月) 15時30分～(予定)

## 2 会 場

- (1) 競 泳  
 ア 開 会 式 川口市青木町公園総合運動場(青木町平和公園内) プール  
 〒332-0035 埼玉県川口市西青木4-8-1 TEL 048-251-6893  
 (JR京浜東北線 西川口駅東口から 徒歩約15分)  
 イ 競 技 同 上  
 ウ 閉 会 式 同 上
- (2) 飛 込  
 ア 開 会 式 川口市青木町公園総合運動場(青木町平和公園内) プール  
 〒332-0035 埼玉県川口市西青木4-8-1 TEL 048-251-6893  
 (JR京浜東北線 西川口駅東口から 徒歩約15分)  
 イ 競 技 同 上  
 ウ 閉 会 式 同 上
- (3) 水 球  
 ア 開 会 式 埼玉県営大宮公園水泳競技場  
 〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-1 TEL 048-641-6391  
 (東武野田線大宮公園駅から 徒歩約10分)  
 イ 競 技 同 上  
 ウ 閉 会 式 同 上

## 3 参加都県

神奈川県・山梨県・埼玉県・群馬県・千葉県・東京都・茨城県・栃木県(1都7県)

## 4 競技種目(日程)

### (1) 競 泳

#### ア 種 目

種 目	男 子	女 子
自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
バタフライ	100m 200m	100m 200m
個人メドレー	200m 400m	200m 400m
フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
メドレーリレー	4×100m	4×100m

イ 競技日程

第1日 7月19日(土)	第2日 7月20日(日)	第3日 7月21日(月)
開会式 9時30分 競技開始 10時10分	競技開始 9時30分	競技開始 9時30分 閉会式 15時30分
No 性別 種目	No性別 種目	No 性別 種目
1. 女子200m平泳ぎ 予選	25. 女子800m自由形 タイム決勝	47. 女子100m自由形 予選
2. 男子200m平泳ぎ //	26. 男子1500m自由形 タイム決勝	48. 男子100m自由形 //
3. 女子 50m自由形 //	27. 女子200m自由形 予選	49. 女子200m背泳ぎ //
4. 男子 50m自由形 //	28. 男子200m自由形 //	50. 男子200m背泳ぎ //
5. 女子200m個人メドレー //	29. 女子100m背泳ぎ 予選	51. 女子100m平泳ぎ //
6. 男子200m個人メドレー //	30. 男子100m背泳ぎ //	52. 男子100m平泳ぎ //
7. 女子400m自由形 //	31. 女子100mバタフライ //	53. 女子4×200mフリーリレー //
8. 男子400m自由形 //	32. 男子100mバタフライ //	54. 男子4×200mフリーリレー //
9. 女子200mバタフライ //	33. 女子400m個人メドレー //	55. 女子100m自由形 決勝
10. 男子200mバタフライ //	34. 男子400m個人メドレー //	56. 男子100m自由形 //
11. 女子4×100mフリーリレー //	35. 女子4×100mメドレーリレー //	57. 女子200m背泳ぎ //
12. 男子4×100mフリーリレー //	36. 男子4×100mメドレーリレー //	58. 男子200m背泳ぎ //
13. 女子200m平泳ぎ 決勝	37. 女子200m自由形 決勝	59. 女子100m平泳ぎ //
14. 男子200m平泳ぎ //	38. 男子200m自由形 //	60. 男子100m平泳ぎ //
15. 女子 50m自由形 //	39. 女子100m背泳ぎ //	61. 女子4×200mフリーリレー //
16. 男子 50m自由形 //	40. 男子100m背泳ぎ //	62. 男子4×200mフリーリレー //
17. 女子200m個人メドレー //	41. 女子100mバタフライ //	
18. 男子200m個人メドレー //	42. 男子100mバタフライ //	
19. 女子400m自由形 //	43. 女子400m個人メドレー //	
20. 男子400m自由形 //	44. 男子400m個人メドレー //	
21. 女子200mバタフライ //	45. 女子4×100mメドレーリレー //	
22. 男子200mバタフライ //	46. 男子4×100mメドレーリレー //	
23. 女子4×100mフリーリレー //		
24. 男子4×100mフリーリレー //		

- ※1 リレー種目の決勝の前に、表彰式終了後10分程度の休憩を入れる。
- ※2 予選・決勝ともに10レーンで行う。タイム決勝は10レーンで行う。
- ※3 予選競技はリレー種目・背泳ぎ種目を除き、オーバーザトップ方式で行う。

(2) 飛 込

ア 競技種目

(ア) 男子の部

- ・ 3m飛板飛込 10演技種目
  - 制限選択飛 (難易度合計9.5以内) 各群より 5演技種目
  - 自由選択飛 各群より 5演技種目
- ・ 高飛込 9演技種目 (6つの群より選択)
  - 制限選択飛 (難易度合計7.6以内) 異群より 4演技種目
  - 自由選択飛 異群より 5演技種目

(イ) 女子の部

- ・ 3m飛板飛込 9演技種目  
制限選択飛 (難易度合計9.5以内) 各群より5演技種目  
自由選択飛 異群より4演技種目
- ・ 高飛込 8演技種目(5つ以上の群より選択)  
制限選択飛 (難易度合計7.6以内) 異群より4演技種目  
自由選択飛 異群より4演技種目

イ 競技方法

- (ア) 予選・決勝方式で行う。
- (イ) 予選における演技種目は自由選択飛とする。
- (ウ) 決勝進出者は予選上位12位までの選手とする。
- (エ) 決勝は、各種目とも、それぞれの制限選択飛、自由選択飛の全種目で行う。
- (オ) 順位の決定は決勝の得点合計によって行う。  
※飛込は「ダイブシート」を予選、決勝各々1通、自分が行おうとする飛込演技番号・型・高さ・難易度を記入して、当該競技の前日(12時～15時)の間に、飛込プールサイドに設置してある箱に入れること。なお、「ダイブシート」は公益財団法人日本水泳連盟指定の用紙を公益財団法人日本水泳連盟ホームページよりダウンロードして使用すること。

ウ 競技日程

第1日	令和7年7月19日(土)	競技開始	10時00分	女子飛板飛込	予選・決勝
				男子飛板飛込	予選・決勝
第2日	令和7年7月20日(日)	競技開始	10時00分	女子高飛込	予選・決勝
				男子高飛込	予選・決勝

(3) 水球

競技日程

第1日	令和7年7月19日(土)	競技開始	8時30分	1回戦4試合	2回戦4試合
第2日	令和7年7月20日(日)	競技開始	8時30分	2回戦4試合	3回戦4試合
第3日	令和7年7月21日(月)	競技開始	9時00分	準決勝2試合	3位決定戦 決勝

5 競技規則

2025年度公益財団法人日本水泳連盟競技規則による。

6 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。  
(競泳男子・女子、飛込男子・女子、水球男子 5部門)

(1) 競泳

個人種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は1位16点、2位14点……8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア リレー種目による得点の多い学校。
- イ 各種目の入賞者数の多い学校。(但し、リレー種目は4と計算する)
- ウ 1位の数。
- エ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)

(2) 飛込

各種目は1位8点、2位7点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア 入賞者数の多い学校。
- イ 1位の数。
- ウ 2位の数。(以下、8位までこれにならう)
- エ 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校。(平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する)
- オ 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校。

- (3) 水球
  - ア 全試合をトーナメントで行う。(3位決定戦も行う)  
なお、前年度成績上位4チームをシードとし、組合せは公開抽選を行う。
  - イ 1回戦から準々決勝までは7分4ピリオドで実施する。準決勝および3位決定戦・決勝は8分4ピリオドで実施する。

## 7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む。)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2025年度公益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は平成18年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーでなく、試合の出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
  - ア 部員不足に伴う合同チーム  
(全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と同専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に基づき、都県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
  - イ 統廃合対象校による合同チーム  
(統廃合完了前の2年間に限る)
- (6) 転校(転籍)後1年未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 全国高等学校総合体育大会の予選を兼ねるものについては、(公財)全国高体連で定めたものによる。
- (9) 関東高等学校体育大会参加資格の特例
  - ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
  - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

### 【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ関東大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(10) 前記(1)～(9)の他、次の項によって参加資格を得た者。

ア 競泳は各都県主催団体の予選会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者またはチーム（但し、4位、5位、6位、7位、8位については別記関東大会の標準記録を突破した者に限る）とする。なお、予選・決勝を問わず、全国大会標準記録を突破した者は主催団体の推薦を経てその種目を申し込む。

注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。

イ 関東大会出場資格特別措置

現在の参加資格に特別措置として次の項目を追加する。

(特別措置)

選手が国際大会などの代表に選ばれたため、予選会（都県大会）に出場できない場合は、予選会（都県大会）への出場を免除する。リレー種目についても、代表選手がチームの一員として出場した当年度（4月2日以降）長水路の公式記録を採用して、標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。但し、その理由書を都県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。このことに関する出場措置は、次のように行う。

①予選会（都県大会）不出場、関東大会出場の場合は、予選会（都県大会）8位まで（標準記録突破者）＋派遣選手とする。

②予選会（都県大会）出場、関東大会不出場の場合は、下位選手の操上げを行い、関東大会の出場者を8名以内（標準記録突破者）とする。

ウ 飛込は各都県主催団体の推薦を経て各都県高体連水泳専門部の締切に間に合うように申し込む。

エ 水球は各都県主催団体の承認を経て下記チーム数だけ申し込む。（参加チーム数を超える都県は予選会を行い、上位より参加チームを決定する）

埼玉県	(4)チーム	千葉県	(3)チーム	東京都	(4)チーム	茨城県	(2)チーム
栃木県	(1)チーム	神奈川県	(3)チーム	山梨県	(1)チーム	群馬県	(2)チーム

(合計20チーム)

オ 同一時期開催の競技会においては、本部の規約で重複エントリーは禁止されている。

## 8 引率・監督について

(1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。

(2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都県高体連会長に事前に届け出ること。

(3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規程が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。なお、水球コーチは2名までの登録とする。

## 9 参加制限

(1) 競泳は1校1種目3名以内、1名2種目以内（但し、リレー種目を除く）。

(2) フリーリレーは参加資格を得た4名と補員を2名、メドレーリレーは参加資格を得た4名と補員を4名申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレー種目には出場できない。但し、個人種目で関東大会に出場しているものは、フリーリレー並びにメドレーリレーに出場することができる。

（参加資格を得た4名とは、決勝で関東大会参加標準記録を切り8位以内に入ったチーム並びに予選で全国大会標準記録を切ったチーム。但し、決勝での記録とメンバーを優先する）

(3) 飛込は1校1種目3名以内、1名2種目以内とする。

(4) 水球は1チーム監督1名、選手13名以内とする。

## 10 参加申込

### (1) 申込書類並びに申込方法

	送付先	申込書類等	作成者	
			参加校	専門部
書類で提出するもの	各都県専門部	A 参加種目別一覧表及び学校長認知書 (男・女別、競技種目別) 3部提出 ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、 ③専門部控え	○	
	〒360-0812 埼玉県熊谷市大原1-9-1 埼玉県立熊谷高等学校 長谷山 広典 TEL 048-521-0050 FAX 048-520-1057 E-Mailアドレス sst.hase777@gmail.com	B 競泳種目別提出書類(2種類) (リザルトから印刷) ① 各都県予選会の標準記録突破者一覧 ② 関東大会申込用に開催県と親子設定したWeb-swmsysのデータを各都県で作成した関東大会の仮リザルトに取り込み、印刷した種目別参加一覧		○
		C 参加申込書 参加校別選手数一覧表及び参加料納入書 (プログラム数調査) ※振込通知書の写しを添付すること ※学校名は正式名称で入力すること。		○
データで送るもの	情報担当 埼玉県高体連水泳専門部 埼玉県立大宮東高等学校 圓谷 修平 TEL 048-683-0995 FAX 048-680-1900 E-Mailアドレス tsuburayashuhei@gmail.com	C 参加申込書 参加校別選手数一覧表及び参加料納入書 (プログラム数調査) (データ) ※学校名は正式名称で入力すること。		○
		D エントリーデータ ① 予選会のリザルトmdbファイル ② 関東大会申込用に開催県と親子設定したWeb-swmsysで再エントリーしたWeb-swmsysのデータ。 (できれば「リレーエントリー2.0xslm」 によって、リレー種目補員データを 入力してください。) ③ ②集計時にWeb-swmsysよりダウンロードできる「所属団体一覧表」、 ファイル名は「dantai.csv」として ダウンロードされるファイル。 ※学校名は正式名称で入力すること。		○
	飛込担当 埼玉県高体連水泳専門部 花咲徳栄高等学校 細貝 孝樹 TEL 0480-65-7181 FAX 0480-65-0778 E-Mailアドレス hosogai @hanasakitokuharu-h.ed.jp	・飛込プログラム記載事項ファイル ※ 参加校はWeb-swmsysへログインし、 関東大会へエントリー入力すること。 ※ プログラム記載事項ファイルは、 「出場選手名」「所属校名」「出場種目」を 記載し、「顔写真」データを指定枠の大き さでファイル内に添付のこと。	○ ※	
水球担当 川口市立高等学校 橋本 泰之 TEL 048-483-5917 FAX 048-262-5081 E-Mailアドレス yhyasu6033@gmail.com	・水球プログラム掲載用データ ※プログラム用、システム用それぞれに 必要事項を入力 ・プログラム用写真データ (.JPG形式)	○		

(2) 申込締切

競泳、飛込、水球ともに令和7年 **6月27日(金) 必着(データ)**

※書類も6月27日までにレターパック(赤)にて郵送必着。

11 参加料

[競泳・飛込] 1名につき 3,000円

[水球] 1チーム 30,000円

※ 主管団体は、一括して下記振込先に送金すること。

埼玉県銀行 県庁支店(店番号104) 口座番号 4763702  関東高等学校水泳競技大会実行委員会
---

※参加料についての連絡先

〒346-0005 埼玉県久喜市本町3-12-1

埼玉県立久喜高等学校 中村 英夫

TEL 0480-21-0038

FAX 0480-29-1024

12 表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。表彰は各競技会場で行う。

(1) 競泳

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ リレー種目優勝チームにはレプリカを贈る。

ウ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

エ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(2) 飛込

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(3) 水球

ア 第4位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加は第4位までとする。

イ 優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

13 水球組合せ抽選会

令和7年6月28日(土) 14時00分から、「川口市立高等学校アリーナ棟2Fミーティングルーム」において公開抽選を行う。

14 宿泊

宿泊斡旋を受けずに、各校で宿泊の予約を取ることは禁止する。その他詳細は別紙大会宿泊要項による。

## 15 監督者会議

[競泳] 令和7年7月18日(金) 16時00分 会場：川口市 並木公民館  
[飛込] 令和7年7月18日(金) 16時00分 会場：川口市 並木公民館  
[水球] 令和7年7月18日(金) 16時00分 会場：さいたま市 大宮公園水泳場会議室

## 16 事務局

- 競泳の事務局 〒360-0812 埼玉県熊谷市大原1-9-1  
埼玉県立熊谷高等学校 長谷山 広典 (はせやま ひろのり)  
TEL 048-521-0050 FAX 048-520-1057
- 飛込の事務局 〒347-8502 埼玉県加須市花崎5-1-9  
花咲徳栄高等学校 細貝 孝樹 (ほそがい たかき)  
TEL 0480-65-7181 FAX 0480-65-0778
- 水球の事務局 〒333-0844 埼玉県川口市上青木3-1-40  
川口市立高等学校 橋本 泰之 (はしもと やすゆき)  
TEL 048-483-5917 FAX 048-262-5081

## 17 全国大会への参加資格

各地域大会における以下の成績の者またはチームは、各都道府県高等学校体育連盟及び加盟団体の推薦を得て全国大会に出場することができる。

### (1) 競泳 ※地域大会に申し込みをした者に限る。

ア 地域大会において、各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選及び決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。  
なお、同タイムも含む。(リレー競技の第1泳者及び1500m自由形の800mにおける正式時間は含まない。)

〈ア、イの確認事項〉

注1 都府県大会の記録で出場することは認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、地域大会において、予選・決勝で出場資格を得たメンバーの4名を含む5名を申し込むことができる。その全員が地域大会に参加していることを条件とする。但し、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち、速いタイムとする。但し、アに該当し予選・決勝とも標準記録を突破することなく出場資格を獲得した場合は、決勝での記録とする。

注5 地域大会が開催できなかった場合、または都府県単位で参加が認められなかった都府県は各都府県大会の記録を採用する。

注6 地域大会及び都府県大会ともに開催できなかった場合は、**2024年4月1日以降2025年7月23日までの**長水路公式記録を採用し、出場を認める。(但し、個人種目のみとし、リレー種目は除く。)

ウ 各都府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都府県は、最低男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者が男女どちらか一方の場合は、出場資格がない方について1名1種目の推薦を認める。

※ 推薦は、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目で、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都府県特別措置

開催都府県で、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を大会出場者として、全国大会開催都府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

※ 北海道は、1道1地域のため、ウ、エの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別出場措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。また、リレー種目において、国際大会出場によるインターハイ辞退者が複数名含まれた場合、補員を増やすことを可能とする。辞退者が2名の場合は1名。3名の場合は2名の増員を可能とする。但し、4名全員が辞退する場合は、予選競技参加者が不在のため補員の増員は行わない。但し、ウ、オについてその理由書（特別措置申請書）を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は下記申込先へ提出すること。なお、届出者は、当該校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

上記に関する出場措置は、次のように行う。

- 1 個人種目について
  - (1) 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで + 派遣選手とする。
  - (2) 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域の出場者を3名とする。  
※各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。
- 2 リレー種目について
  - (1) 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する(各個人の合計記録は認めない。)
  - (2) チームとしては、都道府県予選会、地域大会には出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

カ 競泳の標準記録

		関東大会		全国大会	
		男子	女子	男子	女子
自由形	50m	25.99	28.89	24.09	27.15
	100m	* 56.39	1:01.79	* 52.32	* 58.59
	200m	* 2:05.59	2:14.49	* 1:53.94	* 2:06.81
	400m	4:27.19	4:49.19	4:03.27	4:26.41
	800m	-----	10:09.29	-----	9:11.13
	1500m	17:32.69	-----	16:14.25	-----
背泳ぎ	100m	1:03.99	1:11.19	* 58.64	1:05.08
	200m	2:22.29	2:33.39	* 2:07.94	2:19.56
平泳ぎ	100m	1:11.69	1:19.79	1:04.42	1:12.84
	200m	2:38.39	2:54.89	2:19.22	2:35.71
バタフライ	100m	1:01.69	1:08.49	56.03	1:02.68
	200m	2:21.29	2:36.29	2:04.05	2:18.19
個人メドレー	200m	2:21.59	2:32.59	* 2:07.41	2:22.05
	400m	5:11.49	5:39.29	4:33.44	5:02.11
リレー	4×100m	3:58.49	4:24.19	* 3:35.47	4:02.26
	4×200m	8:29.29	9:54.59	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100m	4:27.79	4:56.09	* 3:56.48	4:26.16

(2) 飛 込

- ア 地域大会において、各種目の第1位の者。
- イ 標準点数を突破した者（同点可）。
- ウ 標準点数

種 目／性 別	男 子	女 子
飛板飛込（3m）	10演技 293.00	9演技 256.00
高 飛 込	9演技 259.00	8演技 231.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女各1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体に推薦することができる。

オ 全国大会特別措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくても出場できる。選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。但し、その理由書（特別措置申請書）を学校登録の都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長に提出し、その後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は下記申込先へ提出すること。なお、届出者は、当該校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

(3) 水 球

ア 地域大会の成績によって次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北：上位2位まで	関 東：上位4位まで	北信越：上位2位まで
東 海：上位2位まで	近 畿：上位3位まで	中 国：上位2位まで
四 国：上位1位まで	九 州：上位3位まで	

イ 上記のチームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加えることができる。

注1 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

注2 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会順位が地域枠の次の順位のチームを繰上げ、地域枠 + 1チームとする。

ウ 地域大会出場チーム数がアの数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。

エ 主催都道府県のチームが不出場の場合、並びに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、公益財団法人全国高等学校体育連盟水泳専門部と公益財団法人日本水泳連盟において協議し、全国大会は20チーム参加とする。

オ 地域大会において、災害や気象条件等により正式な出場権決定戦が実施できない場合は、公益財団法人全国高等学校体育連盟水泳専門部の確認事項に基づき、関係するチームに不利益が被らないように試合条件を変更して出場権を決定することができる。試合実施の可否については各地域大会主管実行委員会において判断する。

18 練習会場・日程

- [競泳] 令和7年7月18日(金) 川口市青木町公園総合運動場（青木町平和公園内）プール 9時00分～18時00分
- [飛込] 令和7年7月18日(金) 川口市青木町公園総合運動場（青木町平和公園内）プール 10時00分～16時00分
- [水球] 令和7年7月18日(金) 埼玉県営大宮公園水泳場 11時00分～16時00分

19 会場開・閉門時間

(1) 会場開門時間

- [競泳] 令和7年7月19日(土)～21日(月) 7時50分
- [飛込] 令和7年7月19日(土)～20日(日) 7時50分
- [水球] 令和7年7月19日(土)～21日(月) 7時30分

(2) 会場閉門時間

各競技終了後1時間を原則とする。

## 20 連絡事項

- (1) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証又はそのコピーを持参する。
- (2) 開会式への出場選手は各都県より5名とし、各都県の委員長が代表して出席する。また、閉会式は各都県の委員長が代表して出席する。
- (3) 大会を中止した場合、参加料は必要経費を差し引いた額を返金する。

## 21 会場使用についての注意事項

### 【各会場共通】

- (1) 貴重品の管理は各校で行う。また、更衣室や観覧席等では私物の管理を徹底する。
- (2) 更衣室ロッカーの使用は不可となる。更衣室に荷物などは絶対に放置しない。
- (3) 各会場受付にて配布するADカードは、必ず首からさげる。ADカードのない者は、一切入館できない。
- (4) 会場内でビデオ・カメラを撮影する場合は、通行の妨げにならない場所で使用する。
- (5) 各会場（観客席・更衣室・トイレ・選手控所 等）を利用するときは、整理整頓に努める。また、ゴミは原則として持ち帰る。
- (6) スタンドでは外履きを認める。プールエリアでは室内履きの使用を認める。必ず区別すること。
- (7) 土足不可の場所があるため、靴を入れるための袋を持参すること。

### 【競泳・飛込会場】

- (1) 選手および監督・コーチ・トレーナー・マネージャーの入退場は、正面右手の階段からとする。保護者等の入退場は、正面左手、テニスコートとの間からとする。  
1階玄関は来賓・競技役員への入口とする。
- (2) 指定された場所以外での場所取りは禁止とする。
- (3) 2階観覧席からアリーナへ移動する際は、室内履きを使用すること。
- (4) アリーナへの入退場は、男女各更衣室からのみとする。
- (5) スタンド下の2階はマッサージエリアとする。詳細は後日発表する。
- (6) 部旗について、指定した期間に指定した場所へ郵送する。開催県側で掲揚する。できるだけ小さい部旗で、選手の妨げにならない物とする。詳細は、後日発表する。
- (7) スタンドの使用（バックヤードを含む）については都県毎に割り振りを行う。各種目の開催期間中は同じエリアを使用する。
- (8) 選手控所（観覧席を含む）は各都県に割り振るので、互いに融通して使用する。
- (9) 会場が住宅地に接しているため、物を使用しての応援は一切禁止とする。
- (10) 撮影については、ADカードを撮影許可書の代わりとする。

### 【水球会場】

- (1) 部旗・横断幕は当該チームの試合中にのみ指定された場所に掲示することを認める。
- (2) 全て入場はプール入口とする。
- (3) 選手控所はスタンド及びスタンド裏のスペースを基本とする。
- (4) プールサイドについて選手はサンダル可、監督・チームスタッフは室内履き（サンダルは不可）。
- (5) 観客はプールサイドには立ち入り禁止とする。スタンドのみで観戦を可とする。
- (6) スタンドでのテント利用は可とするが、生徒がテントを設置した場合は風に煽られて落下したりすることが無いよう、引率責任者の責任においてその状況を必ず確認すること。天候によっては利用禁止にすることも考えられる。
- (7) 選手の控え場所について、詳細は後日連絡をする。
- (8) 会場出入り口付近道路がカーブしており危険なため、注意して出入りを行うこと。
- (9) 駐車場について、定められた場所及び近隣の有料駐車場を利用すること。また、出入り口付近の乗り降りは禁止とする。各チーム1台まで（監督・コーチ関係者に限る）大宮北中学校駐車場を利用することができる。詳細は後日連絡をする。
- (10) 撮影について、ADカードが発行されている者については、これを許可書の代わりとする。ADカードを所持していない者については、受付で撮影許可書を受け取ること。

## 関東高等学校体育大会における個人情報

### 及び肖像権にかかわる取り扱いについて

#### 関東高等学校体育連盟

関東高等学校体育連盟は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

#### 1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会プログラムに掲載します。
- (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

#### 2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 開催都県各種目専門部の報道・記録係を通じて公開されます。
- (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、大会本部が作成する大会報告書（以下「報告書」という。）に掲載されます。
- (4) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

#### 3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) このほか、関東高等学校体育連盟の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

#### 4 開催都県各専門部としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記の取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、関東高等学校体育連盟事務局または大会を開催する各都県高等学校体育連盟まで御連絡ください。

#### 連絡先・問い合わせ先

関東高等学校体育連盟 事務局（群馬県）	027-224-5046
山梨県高等学校体育連盟	055-287-8862
埼玉県高等学校体育連盟	048-822-6792
神奈川県高等学校体育連盟	045-311-8817
千葉県高等学校体育連盟	043-252-1691
茨城県高等学校体育連盟	029-300-5012
東京都高等学校体育連盟	03-5320-7470
栃木県高等学校体育連盟	028-612-5290